

1. 干拓地 2. 耕作放棄地 3. 休耕田 4. 遊休地

1. 海外からの輸入量が増加したことに伴い、国内消費向けの出荷量も過去最高となっている。
2. 1960年代から現在に至るまで、右肩上がりで水揚げ量が増加し続けている。
3. 1985年に約78万トンの水揚げ量を記録してピークとなり、その後は減少傾向にある。
4. 遠洋漁業が衰退した1975年頃から、それを補うように水揚げ量が過去最高を更新した。

1. Aはさつまいも、Bはじゃがいもである。
2. Aはじゃがいも、Bはさつまいもである。
3. Aはてんさい、Bは茶である。
4. Aは乳牛の飼育頭数、Bは肉牛の飼育頭数である。

1. 国内生産量が回復したことで、海外からの輸入に頼る必要がなくなり、輸入量が減少している。
2. 国内生産量は減少し続けているが、輸入量も減少に転じたため、国内の魚介類消費は減少傾向にある。
3. 国内生産量と輸入量の双方が1985年から一貫して増加しており、国内消費は拡大している。
4. 輸入量が年々増加しているため、国内生産量が減少していても国内の魚介類消費は増加している。

1. 大消費地に近い利点を活かし、鮮度を保ったまま短時間で市場へ輸送している。
2. 冬の温暖な気候を利用して、他の地域よりも収穫時期を大幅に早めている。
3. 標高が高い地形による涼しさを利用して、キャベツが熱に弱い特性を補っている。
4. ビニールハウスなどの施設を用いて人工的に温度を上げ、成長を促進させている。

1. 製粉には大量の工業用水が必要であり、河川の最下流にあたる臨海部が適しているから
2. 小麦は鮮度の低下が早いので、海外から到着した原料をただちに加工する必要があるから
3. 原料の多くを輸入に頼っているため、船による大量輸送の利便性を重視しているから
4. 原料よりも製品の方が重くなるため、最終的な消費者に近い港湾都市が選ばれるから

1. 高度経済成長 2. 広域連携 3. 関税障壁 4. 地方交付税交付金

1. 他県産の出荷量が減少して市場価格が高くなるため、その時期に出荷することで農家の収入が増える。
2. 自県からの出荷量を抑えることで市場価格を高く維持し、少ない販売数で農家の収入を安定させる。
3. 他県産の出荷量が急増して市場価格が安くなるため、薄利多売によって農家の収入を維持する。
4. 出荷量に関わらず市場価格が一定になるよう調整されているため、農家の収入は出荷時期に左右されない。

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 自動車は故障を防ぐために航空輸送を利用し、半導体は大量に運ぶために海上輸送を利用する。 | 2. 自動車は重量があるため航空輸送には適さず、半導体は熱に弱いため海上輸送には適さない。 | 3. 自動車は輸出先が遠隔地であるため海上輸送を利用し、半導体は近隣諸国への輸出が多いため航空輸送を利用する。 | 4. 自動車は輸送コストを抑えるために海上輸送を利用し、半導体は迅速性を重視して航空輸送を利用する。 |
|--|---|---|--|

1. 都市部の人口増加に対応するため、農業用水をすべて飲料水に転換し管理を容易にするため
2. 水力発電の効率を高めるために河川の流速を一定に保ち、周辺の工業地帯に電力を供給するため
3. 洪水を防ぐための治水対策と、農地に安定して水を供給するための利水対策を両立させるため
4. 大規模な堤防によって水深を深く保ち、大型船による農産物の輸出を円滑にするため

1. 産油国による原油価格の引き上げや地域の情勢不安が、日本の物価や企業活動に大きな影響を及ぼすリスクがある。
2. 輸入先が特定の地域に集中していることで、輸送ルートが限定されるため、常に安価で安定した供給が保証されている。
3. 西アジア以外の地域からの輸入割合がすでに5割を超えているため、特定の地域で紛争が起きても日本経済への影響は限定的である。
4. 原油の輸入価格は日本政府が決定権を持っているため、産油国の経済状況が日本のエネルギー価格に影響することはない。

1. 故障した製品を修理せず、そのままの形で海外へ輸出する工程